

2021年度 日本工学院八王子専門学校											
コンサート・イベント科 照明コース											
コンサートプロダクト4											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	270	単位	9
担当教員	小川絢乃			実務経験	有	職種	舞台照明				
授業概要											
外部の会場での実践的なコンサート実習を通じて、プロの現場を意識した状行を行う。仕込み作業等をを安全かつ決められた時間内に正確にしっかりと行う。照明チームとしてのワークスタイルを確立し照明スタッフとして更なるスキル・アップを図る。現場に即した他のセクションやアーティストサイドとのコミュニケーションを本番実習を通して行い、自ら考え判断し行動できるようにする。											
到達目標											
・ムービングライトなどの特殊機材の構造と空間デザインに表現における効果的な方法を理解する。 ・調光卓(ムービングライト・LEDライト)のプログラムの仕方を理解する。 ・舞台照明の規格の一つであるart-net・sACNなどの信号規格の概要と用途を理解する。 ・舞台照明は一人で出来る作業ではない為、実習を通じて、他人とのコミュニケーションを身につける。											
授業方法											
音楽業界だけでなく、エンターテインメントに必要な照明として、最低限必要な舞台照明の技術・知識を身につけ、社会人として、必要なコミュニケーションも指導していく。また、照明では高所に機材を設置す目為、作業においての安全・も理解する。1人で出来る仕事ではなく、協力し助け合い切磋琢磨が必要。より良いコンサートやイベントにするために照明の重要性を理解し、意思疎通ができるようにする。											
成績評価方法											
*積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。 *本番実習においての協調性や積極性、理解度を評価する。 *宿題や見学のレポートなどを真剣に取り組んでいるか、提出状況によって評価する。											
履修上の注意											
失敗する事が問題でなく、分からない事をそののままにしておく事が問題の為、自ら積極的に授業に参加しコミュニケーションも重視する。厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。(遅刻・欠席の場合、授業開始15分前までに必ず教員室に連絡を入れる事。)ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は評価しない。											
教科書教材											
随時、資料等配布											
回数	授業計画										
第1回	学園祭に向けて①(仮設仕込)：野外ステージやブライダルなどの仮設仕込で必要な知識と様々な仕込を理解する。										
第2回	学園祭に向けて②(仕込図の作成)：会場別に片柳記念ホール・野外ステージ・ブライダルの仕込図を作成する。										
第3回	学園祭に向けて③(仕込図の検証)：片柳記念ホール・野外ステージ・ブライダルの仕込図を元に現地にて照明演出が効果的かどうか検証する。										

2021年度 日本工学院八王子専門学校	
コンサート・イベント科 照明コース	
コンサートプロダクト4	
第4回	学園祭に向けて④(プログラム)：出演アーティストの楽曲を元にデーターの打込み、曲との表現の仕方を検証する。
第5回	学園祭本番：自主的に行動し、各部署だけでなくチームワークを活かす
第6回	卒業ライブに向けて①(仕込図の作成)：卒業ライブに向けての仕込図を作成する。
第7回	卒業ライブに向けて②(仕込図の検証)：卒業ライブに向けての仕込図を元に仕込み、検証等をする。
第8回	卒業ライブに向けて③(仕込図の検証)：卒業ライブに向けての仕込図を元に仕込み、検証等をする。
第9回	卒業ライブに向けて④(プログラム)：出演アーティストの楽曲を元にデーターの打込み、曲との表現の仕方を検証する。
第10回	卒業ライブに向けて⑤(プログラム)：出演アーティストの楽曲を元にデーターの打込み、曲との表現の仕方を検証する。
第11回	卒業ライブに向けて⑥(プログラム)：出演アーティストの楽曲を元にデーターの打込み、曲との表現の仕方を検証する。
第12回	卒業ライブに向けて⑦(仕込・転換練習・テクリハ)：各テクニカルコースとの連携の確認、検証等を行う。
第13回	卒業ライブに向けて⑧(機材準備・積込み)：仕込図より機材の員数出し、搬出のトラックへの積込み方を理解する。
第14回	卒業ライブ：搬入から仕込・シュート・リハーサルそして本番・撤収・搬出と各部署との連携を確認しながら安全に進める。
第15回	卒業ライブ：搬入から仕込・シュート・リハーサルそして本番・撤収・搬出と各部署との連携を確認しながら安全に進める。